

子供のかかりやすい病気

* 学校伝染病 学校保健法で休ませることになっている
(医師において伝染のおそれがないと認められるまで)

病名	流行の季節	潜伏期及び感染しやすい時期	病状の特徴及び経過	登園禁止期間	その他注意事項
* 麻疹	年中みられるが特に5月～6月に多い	10日～12日 発疹出現の1週間以上前から発疹出現後4～5日	3～4日間の発熱、頬の内側に粟粒大の白い斑点がみられる。	発疹がすべて紫色になり解熱した後3日を経過するまで(完治するまで10日～14日ほどかかる)	・かなり体力は消耗し、免疫もおちているため、他の感染症にかかりやすいので、休養が大切。
* 水痘 (みずぼうそう)	冬～春	2～3週間 発疹が出る1日前からすべての発疹がかさぶたになる間	・赤い米粒大の発疹が1～2個あられ、37～40度の発熱を伴うこともあるが発熱しないこともある。 ・水疱へと変化し、かゆみを伴う ・顔や体、頭皮に発疹が出てくる。	すべての発疹がかさぶたになるまで	・痒みがあるので、爪を切っておく。(二次感染がおこり傷跡になる) ・感染力もはしかの次位に強い
* 流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	1年中だが真夏と真冬の2回ピークがある	2～3週間 耳の下が腫れてくる1週間前から発疹後10日位	・耳の下から頬、顎の辺りが腫れてくる。(片方だけの場合もある) ・腫れは痛みを伴い押ししたり、食べ物をかむと痛がる。	耳の下が完全にひくまで	口を開けたり噛むと痛がるので食欲がおちたりする。飲むことは出来るので脱水にならないためにも、スープやポタージュなどの消化がいいものを工夫しましょう。
* 風疹 (三日はしか)	1～5日	2～3週間 発疹出現前7日～出現後7日間	・発熱と同時に発疹も出現し、耳の後ろや首のリンパ節が腫れる ・桃色の発疹が耳の後ろや首から始まり、3日間前後で退色する。	すべての発疹が消えるまで	・熱のある間は消化のよい食事と水分補給を心がけましょう。 ・妊婦は要注意(妊娠初期に感染すると先天性風疹症候群になることがある)
* 百日咳	秋	1～2週間 咳やくしゃみ等の症状が強い最初の2～3週間	・「コンコン」と咳き込んだあとで「ヒューヒュー」という特徴のある笛のような咳が長時間続く病気 ・咳は夜間に多いので眠ることが出来ず、体力を消耗する。 ・咳が激しいので、咳き込んだ後に嘔吐したり、喉が浮腫んだり、目が充血する。	コンコン、ヒューヒューという特有の咳が治まってから。	・室内は加湿器等で湿度を保ち、ほこりをたてないようにする。 ・ねばねばした痰を出しやすくするために水分補給をする。
* 流行性角結膜炎	1年中だが特に夏～秋	5～7日 発疹後2～3週間 特に1週間は感染力強い	・眼の腫れ、目やに、充血、発熱等	充血がとれ、目ヤニが出なくなるまで	・手指の手洗いをこまめにし、タオル、洗面器等の個別のを使用する。 ・手は石鹸でこまめに洗う。 ・健康状態が良ければ1～2週間で治る。
* 急性出血性結膜炎	夏～冬	1～2日 発疹後4～5日間 感染力強い	・眼の腫れ、結膜のむくみや結膜からの突然の出血(白目にポツポツとした点状の出血)、目がゴロゴロする、充血、眩しさ。 ・片目に症状が出た場合、1日以内にもう片方の目も発症する。	医師において伝染のおそれがないと認められるまで	・手指の手洗いをこまめにし、タオル、洗面器等の個別のを使用する。 ・手は石鹸でこまめに洗う。 ・健康状態が良ければ1～2週間で治る。
* 咽頭結膜炎 (プール熱)	初夏～秋口	5～7日 喉からは2週間、便からは4週間菌が排出される。	・突然39度前後の発熱が4～5日続く。 ・目が赤くなり喉が赤く腫れる。	主症状がきえた後2日を経過するまで	・感染力が強いのでなるべく家から出ないことが必要。 ・発疹後2週間はウイルスの排泄があるので、プールに入らないようにする。 ・家族にうつさないようタオルや洗面器、洗濯も別にする。 ・喉の痛みが強いので脱水症状に気をつけましょう。

病名	流行の季節	潜伏期及び感染しやすい時期	病状の特徴及び経過	登園禁止期間	その他注意事項
ヘルパンギーナ	夏	2～7日	高熱がいきなり出るが、2～4日で下がる。 ・急に高熱が出て口の中に水疱が出来る。	主な症状がなくなってから2日間すぎたら	夏風邪の一種。ほとんどは2週間位で治る。 痛みがひどく、水が飲めない為に脱水症状に注意しましょう。 熱が一気に上がるので熱性けいれんに注意。
手足口病	初夏～初冬	2～4日 便から3～4週間菌が排出されている	口、手のひら、足のうら、おしり、膝に小さい水疱が出来る	主症状が消失し、全身状態が安定していれば登園可	口の中が痛いので飲みたがりませんが脱水にならないようにこまめに水分補給を心がけましょう。おむつ交換後手洗いは十分にすること
伝染性膿疱化疹 (とびひ)	初夏～冬	2～5日 ジクジクしたおでかからの滲出液で皮膚に次々と、とびひする。 感染力が強い	・虫刺されやあせもなどをかき壊して出来た傷に菌が感染しておこるもの。 ・膿をもった小さな水疱がつぶれてジュクジュクした汁をもつようになり、汚いかさぶたがつく。 ・痒みがあるので、かき壊して広がっていく。(感染力が強い)	・完全に治るまで ・症状により医師の指示による広範囲の場合休園。 ・登園するときは必ず患部をガーゼで覆う。	・感染力が強いので、湯ぶねに入るのはさけ、タオルも家族とは別にします。 ・シャワーは1日何回使用してもいいので、殺菌力のある石鹸でしっかり洗い、十分に流す。 ・かき壊さないように爪を切っておく。きちんと治療しないと完治しない
突発性発疹 (三日熱発疹)	1歳までに多い	5～15日 発疹時～発疹のある間	突然39～40度の高熱が2～4日間続く。熱が下がると伴にバラ色の小さな発疹がでる。2～3日で消える。	主症状が消失すれば登園可	4～5日のうちに自然に治る。
伝染性紅斑 (りんご病)	冬～春	1～2週間 発疹出現1週間前	・発熱があまりない。時に37度位 ・両頬に平らで赤い発疹が左右対称に蝶々の形のように出る。	・赤い発疹が出た時にはもう人にうつす感染力はなくなっているため登園しても大丈夫です。	・普通に日常生活を送って大丈夫です。 ・軽くすむことが多く、元気なのであまり心配いらない病気ですが、うつる病気(ウイルス感染)ですから一度診察うけましょう。
溶連菌感染症	12月～3月	2～7日 咽頭に菌のいる間	・突然の高熱、喉の痛み、全身にまっ赤な発疹が出る。 ・発疹が出た後には、舌がまっ赤になりブツブツした感じになる。(いちご舌)	抗生物質を1～2日服用し発熱などの主症状がなくなって元気があれば登園しても大丈夫。	・熱が出るうえに、喉が痛いとおちて脱水が心配になるので水分補給が大切。 ・3歳以上でかかったらきちんと治すことが大切(合併症を起こさないために10～14日間抗生物質を内服することが勧められている。)
インフルエンザ	秋～春	1～2日 きわめて強い	突然の発熱、頭痛、嘔吐、下痢、体のだるさ	発疹した後5日を経過し、かつ、解熱した後3日を経過するまで	・肺炎になりやすい ・ショックを起こすほどの卵アレルギーの人は予防接種が受けられない。
感染性胃腸炎 (ウイルス性胃腸炎)	冬	1～3日 飛沫、経口、接触感染、便から1週間菌が排出されている。	・軽い風邪症状から突然の嘔吐や下痢。 ・ロタウイルスでは白色ないし淡黄色の便が5～6日 ・ノロウイルスでは1～2日	・症状により医師の指示による。 ・下痢、嘔吐等の症状が出ている間は休園。 ・症状が回復した後、全身の状態の良い者は登園可。	・嘔吐、下痢が続く時は脱水をおこしやすい。少量の水分を何回にもわけて補給する。 ・吐物、便で汚染された手指による経口感染なので、手洗いはしっかり行う。